



〒010-0521
 男鹿市船川港南平沢字上大畑台30
男鹿市立男鹿南中学校
 TEL/FAX 0185-23-3241/24-4947
<https://edu.city.oga.akita.jp/ogaminami-jh>
校報通算 第291号

やっぱり、“男鹿”っていいね♡
 ~ “男鹿”の文化や自然を守ることの大切さを実感しました。~

校長 森山直人

7/19 ぐろおがる講座⑥ フォトジャーナリスト高橋智史さんをお迎えして @男鹿市民文化会館小ホール (火)
 カンボジアと故郷秋田~闘いと願いを見つめた20年間~

高橋さんは、カンボジアでの社会問題、文化、歴史などの取材と並行し、男鹿を中心とした秋田で受け継がれてきたナマハゲ行事、ハタハタ漁、真鯛漁などの取材を重ねています。フォトジャーナリストというお仕事、カンボジアの現実とその背景、男鹿の文化や人々についてのエピソードなどを、体温や息づかいまでもが感じられるような写真とともにお話しくださいました。

南中生からの質問にやさしく丁寧に答えいただいた高橋さん。南中生も高橋さんのお返事に感想や自分の思いを返しながら、男鹿の文化と人々の営みを撮影し続ける高橋さんの思いにふれていました。



◇男鹿は、ハタハタや真鯛、ナマハゲがあり、人々が願う大切に守りつないできた文化が根付いている、世界的にも本当に貴重な場所です。すばらしいものがいっぱいあることを再認識して、守ってくれる人、つないでいてくれる人が一人でも増えてくれたらうれしいと思います。



公開講座である本講座に、一般の方が約40名ご参加くださいました。ご来場くださったみなさま、ありがとうございました。また是非お越しください。

6/28 3年ぐろおがる活動「増川の海を守り隊」 (金) ゲストハウス男鹿×アーステイ男鹿×男鹿南中

ゲストハウス男鹿のオーナー三浦さんからの情報で南中のすぐそばの増川の海に貴重な環境資源があることが分かりました。海中に生きながら大気中の二酸化炭素を吸収する海草「アマモ」と浜辺に群生している「スナガニ」です。これらを繁殖させ環境保全につなげる活動を三浦さん、アーステイ男鹿のみなさんと一緒に行いました。また、活動前にはクリーンアップにも取り組みました。



○写真を見たり解説を聞いたりして、僕の幸せは誰かが支えてくれて成り立っているんだと知れた。僕も何かで人のことを支えられるようになりたい。
 ○自分自身の価値観だけですべて悪いと決めつけないでいろいろな面から見ることは人の見方にもつながるというお話を聞いて、これから生きていく上で大切にしていきたいと思います。
 ○私は将来外国に行って仕事をしてみたいと思っているので、その時は高橋さんのように人を助けられる仕事もしてみたいです。
 ○ババヘラがカンボジアの材料で作られ、その町で売られていて、そのお金がカンボジアの人々の生活に役に立っているということを知り、男鹿市民の一人としてとてもうれしくなりました。
 ○写真を見たりお話を聞いたりして、苦しむ人々を助けるボランティアなどに参加し、少しでも支えていきたいと思いました。

終わりの会では、達成感に満ちた3年生全員から増川の海へ向けて感動のメッセージが届けられました。「増川の海さん、だいすきだよ～～♡」